

6. 補論

WELLBY の算出

WELLBY は、1 人の生活満足度が 0 から 10 の尺度で 1 ポイント変化し、その状態が 1 年間続くことを表す単位であり、人びとのウェルビーイングを金銭単位に換算するための指標である (Frijters et al., 2024)。この指標を用いることで、さまざまな財の社会的価値がどの程度の金銭価値に相当するのかが示すことができる。

本研究の所得モデルでは、世帯年収が 10% 増えると、生活満足度が約 0.2 ポイント上昇することが示された ($\beta_1 = 2.039$)。この結果をもとに、一般的な世帯年収水準の人が生活満足度を 1 ポイント向上させるために必要な金額を求める。これは、次の数式で表される。

$$WELLBY = \frac{I_0}{\beta_1} \quad (5)$$

ここで、 I_0 は標準的な世帯年収、 β_1 は世帯年収が生活満足度に与える影響 (本研究では 2.039) を示す係数である。「国民生活基礎調査」(2023) によると、日本の世帯年収の平均は 524 万 2,000 円、中央値は 405 万円である。これを上の式に当てはめると、生活満足度 1 ポイント分の価値は約 199~257 万円と求められる。計算を簡略化し、便宜上 200 万円とすることもできる。なお、英国では 1 WELLBY の金銭価値は、2019 年価格ベースで 13,000 ポンド (約 250 万円) と設定されているので、ほぼ同等の水準となっている¹³。

次に、WELLBY をどのように活用するのかを具体的な事例を通じて示す。たとえば、ある自治体が 1 年間のスポーツ教室を開催し、50 人の参加者がこのプログラムに参加したと仮定する。この教室において、参加者の生活満足度が (参加しなかった対照群と比べて) 平均で 2 ポイント向上した場合、WELLBY の生成量は 100WELLBY となる。この場合、このスポーツ教室の社会的価値は 100WELLBY × 200 万円 (1 WELLBY の金銭的価値) で計算され、約 2,000 万円に相当する。このように、WELLBY を使用することで、人びとの福祉増進を向上させる施策がどれほどの金銭的な価値を持つのかを定量的に示すことができるため、公共政策や社会的企業にとって有用な指標となる。

¹³ その計算過程については HM Treasury (2021) を参照されたい。